

施設概要

児童定員 52名

本園：東京都杉並区高井戸東2-3-4

■学童寮 3寮 各6名

■幼児寮 1寮 6名



地域小規模型児童養護施設

■第1分園：東京都杉並区 6名

■第2分園：東京都杉並区 6名



第3分園：東京都杉並区 6名

誠明学園提携型グループホーム

■男子ホーム：東京都福生市 男子 5名

■女子ホーム：東京都青梅市 女子 5名

職員構成

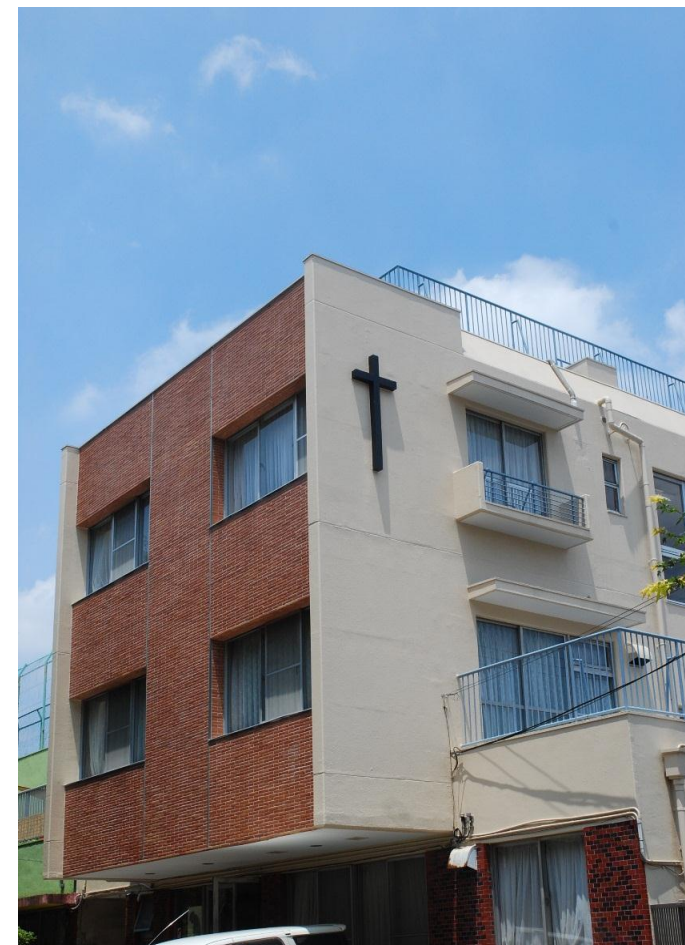
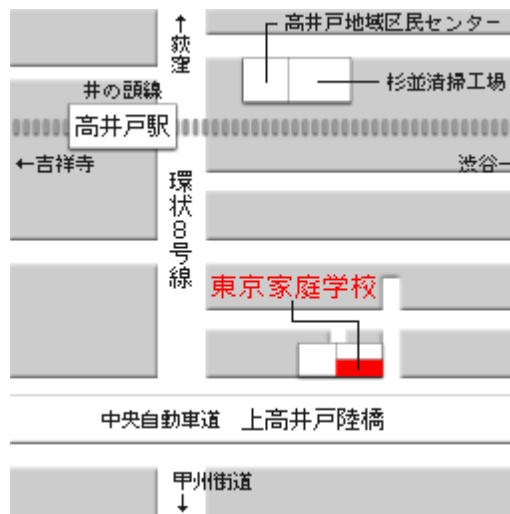
施設長 松田雄年

書記 主席指導員 家庭支援専門相談員・本園統括主任（兼任） グループホーム支援員
学童寮主任 幼児寮主任 児童指導員・保育士
事務員 栄養士 調理員
嘱託医（小児科・児童精神科）
心理療法担当職員 治療指導担当職員
グループホーム補助員

社会福祉法人東京家庭学校理事会 名簿

平成27年4月1日現在

理事長	安達高之	評議員	山口 郁
常務理事	松田雄年	評議員	今井静子
理事	今井 讓	評議員	木下利一郎
理事	今関公雄	評議員	廣田民江
理事	國本 明	評議員	高井 賢
理事	山口直樹	評議員	今井 卓
監事	神谷幸男	評議員	寺本久美子
監事	小林 茂	評議員	小寺典子



児童養護施設

東京家庭学校

社会福祉法人 東京家庭学校
児童養護施設 東京家庭学校
〒168-0072 東京都杉並区高井戸東 2-3-4
03-3333-8627/03-3333-8629(FAX)
E-mail tokyo@katei-gakko.jp
<http://katei-gakko.jp>



創立の精神と事業目的

本校は、近代社会事業史上の先覚者、留岡幸助により、キリスト教精神に基づいて、1899年に民営の感化院として創設された児童福祉施設です。

校祖留岡幸助は、「子どもは、救うべきもの、導くべきもの、教うべきもの、愛すべきもの」という児童観に基づき、「家庭にして学校、学校にして家庭、愛と智が溢れに溢れた環境」での家族舎制度と生活教育を掲げ、「能く(よく)働き、能く食べ、能く眠らしめる」という三能主義(留岡精神)のもと、個性を重視した人格形成のために、少年たちと生活を共にしました。

東京家庭学校は、この伝統と精神を今も尊重しながら、子ども達の声に常に耳を傾け、自己選択と自己決定を優先し、自立支援とサービス向上に最善の努力をつくしております。

養護方針

子どもたち一人ひとりの内面を温かく受け入れ、その言葉に注意深く耳を傾けながら、職員との信頼関係に裏打ちされた対等で尊重し合える人間関係の中で、自立を支援することを養護の基本方針としております。

キリスト教精神と創設者である留岡幸助の精神を各職員がよく理解し、主体者である子どもの権利擁護と、その遵守遂行(安全で安心した生活環境の提供)を念頭におき、「あかるく、のびのびと」、そして「やさしく、たくましく」、協調性と自立心を身に付けた子どもたちを育てていきます。

さらに地域と密接な関わりを構築し、子育て相談を始め福祉要望に応えられる開かれた施設になることを目指し、施設の子どもたちに対してもまた地域の方々に対しても率先して実践し、福祉のあるべき姿を指し示していきたいと思っております。

沿革

1899(M32)年 11月	留岡幸助がキリスト教信仰に基づいて家庭学校を創立する
1914(T 3)年 8月	北海道紋別郡上湧別村社名淵に分校と農場を開設する
1935(S10)年 11月	巢鴨より高井戸に移転
1948(S23)年 1月	児童福祉法施行により少年保護団体を養護施設とする
1952(S27)年 4月 5月	上水保育園を開園する 東京家庭学校と改称する 社名淵分校は北海道家庭学校と改称する
1968(S43)年 4月 12月	北海道家庭学校を分離する 本園新築落成
1990(H 2)年 8月 11月	第1分園 開設 心身障害児者短期入所事業(光ホーム)開設
1994(H 6)年 4月	第2分園 開設
1998(H10)年 4月	児童福祉法により養護施設を児童養護施設に改称する
2001(H13)年 3月 4月	本館大規模修繕改修工事完成 創設百周年記念式典挙行
2003(H15)年 4月	松田雄年が五代校長に就任する
2006(H18)年 2月	誠明学園との提携型グループホーム(男子)開設
2007(H19)年 4月	第3分園
2009(H21)年 7月	本園において、自炊(買い出し・調理)を開始
2010(H22)年 2月	誠明学園との提携型グループホーム(女子)開設

